

功調

海軍功績調査部長殿

昭和十九年十二月十五日

〇九ノ二

二月

三日送付

多號作戰第九次輸送部隊戦闘詳報

自昭和十九年十二月九日
至昭和十九年十二月十三日

マニラレイテ島間海面に於ける水上及對空戦闘

多號作戰第九次輸送部隊

夕月四日桐原隊一七三七輸送船九

一四〇一五九

◎ 目 次

- 一 形 勢
- 二 計 畫
- 三 實施經過
- 四 令達報告等
- 五 戰果及被害
- 六 戰訓所見其他

(目次終)

一、形勢

敵「レイテ」島ニ上陸以來「タクロバン」「ドラグ」「アラウエ」等ノ飛行場ノ整備ニ努メ「タクロバン」飛行場ハ既ニ使用シツツアリ、一方陸續トシテ増援部隊ヲ送り込ミ「コイバイ」「アルベラ」「イピール」ハ敵ノ掌中ニアリ、目下「オルモック」ニアリテ被我激戦展開中

敵ノ水上艦艇ハ「タクロバン」ヲ基地トシ「レイテ」島西岸ニ宍没スルニ至リ、突入當日「オルモック」湾内敵巡洋艦一隻乃至二隻、駆逐艦三隻乃至五隻、商船数隻在泊シアルコト確實ナリ、敵機ハ昼夜ヲ分タズ非島中南部西岸ノ哨戒極メテ嚴重ナリ

二、計畫

多號作戰第九次輸送部隊（護衛艦三十駆逐隊（夕月卯月）桐三十一駆逐隊（駆逐三三七））船團美濃丸、空地丸、ヒすまにや丸、九号一四〇号、一五九号輸送艦ハ九日一四〇〇MM出撃、十一日一七三〇「オルモック」突入

予定（九号）輸送艦 十一日一三。今離單獨「セブ」ニ突入「ヲ以テ航行中
 九日 艦機密 第一〇九七二一 番電ニ依リ揚格卓ヲ「ボロ」ニ決定セラレ
 又十一日 GK F 機密ニ〇七二番電ニ依リ揚格卓ヲ再ビ「オルモック」ニ変更
 セラレシニ依リ十一日ニ〇三〇「オルモック」突入ニ変更セリ

三 實施經過

月日時刻	天候
<p>三月九日 曇重九 一四〇〇</p> <p>多號作戰第九次輸送部隊少港 駆逐隊 驅逐隊 船団、順ニ單縱列ヲ制ル コレヒトル馬通過マニラ湾外ニ出ル 第三警戒航行隊形ヲ制ル 針路一三八度 速力九節 二六〇度方向ニ敵味方不明機ヲ認メ配置ニ 就ク 味方機ノ誤ナルコト判明</p> <p>針路一八〇度 針路一四〇度</p>	<p>三月九日 曇重九 一四〇〇</p> <p>一七四七 一八二〇 一九〇九</p> <p>二〇二〇 二一四五</p>
<p>百隊(艦)ノ實施經過</p>	<p>友軍實施經過概要</p>

二二四〇	針路九五度
二三〇〇	針路四五度
二四〇〇	針路九〇度
十日 曇	
〇〇一〇	針路一四〇度「マリカパン」海峡ニ入ル
〇一〇六	針路一二五度「マリカパン」海峡ヲ出ル
〇一五四	「メルテ」島北水道ヲ通過ス
〇三一五	針路一三〇度
〇七三〇	針路一四五度
〇八一五	之字運動第一志ヲ始ム「ダグラス」海峡通過
一〇五〇	取舵反転 針路三三五度
	揚捲貞ヲ「バロンパン」ニ決定セラレシニヨル
一四〇〇	針路五五度

味方機時々上空通過

一四一	一四一	「B」二四一機形因ニ触接 配置ニ就ク
一四二	一四二	対空戦斗 戦果及被害ナシ
一四三	一四三	先「B」二四一四〇度方向ニ見失フ
一四四	一四三	針路二四五度
一四五	一五〇	之字運動ヲ第一法ヲ始ム
一四六	一四八	
一四七	一八〇	之字運動ヲ止ム
一四八	一九四	針路一七〇度
一四九	二一七	針路一三五度
十一日 半曇		
一五〇	一〇〇	針路二三度
一五一	四一五	針路一一〇度
一五二	四一七	敵味方不明ノ商船一隻航ヲ及航配置ニ就ク

味方戦斗機ニ機二三五度
方向ニ認ム

<p>一五五五</p>	<p>「F四」初五。機発見 対空戦斗</p>
<p>一二三〇</p>	<p>九号輸送艦 形圖ト分離「セブ」ニ向フ</p>
<p>一一〇五</p>	<p>針路一〇〇度</p>
<p>一一二五</p>	<p>「F四」P三八 約四。機ト交戦 十機撃墜</p>
<p>一〇三〇</p>	<p>対空戦斗</p>
<p>一〇三四</p>	<p>「P三八」三機右四五度ニ発見</p>
<p>〇九三〇</p>	<p>針路九五度</p>
<p>〇八二五</p>	<p>先ノ飛行機右一〇四度ニテ見失 打方止メ</p>
<p>〇八一五</p>	<p>「B一三」二機発見 打方始メ</p>
<p>〇八〇八</p>	<p>敵「P三八」四機船方向ニ認ム 配置ニ就ク</p>
<p>〇七〇二</p>	<p>先ノ希望鏡ヲシキモノハ木材ノ漂流物ノ誤リ</p>
<p>〇六五九</p>	<p>九。度方向ニ後ノ希望鏡ヲシキモノヲ発見</p>
<p>〇四二五</p>	<p>味方商船ナルコトヲ確認ス</p>

此間味方直衛機ト敵
戦斗機トノ空戦随処アリ

一六〇八	敵編隊形因突ッ込
敵機三十数機敗上陸	
一六三〇	美濃丸大傾斜 たすまにや丸火災炎上
共ニ航行不能 護衛艦小被害アリ	
一八三五	三十一駆潜隊卯月ヲシテ救難ニ當ラシメ
空知丸ハバロシホニニ入河揚務セシメ夕月	
桐二四〇号及一五九号輸送艦ヲ率テオロモク	
一九二一	魚雷戦用意
一九三九	二五度ニ変針
二〇一七	針路九〇度
二〇四五	戦中用意
二〇四九	魚雷艇ヲシキモノヲ発見
二〇五四	オロモク湾内ニ突入 敵ハ照明彈ヲ射ケ上ゲ

トイハルヤ
 一六三〇
 一六三〇

彼我激戦中

二〇五六 針路三〇度 速力十二節

二一〇五 針路一三度 速力九節

二二二四 夕月 桐 面舵及転灣の整成 輸送艦

「オルモック」西方ニ軒附近ニ敵前強行揚陸開始

夕月 桐「オルモック」灣西岸ヲ停止乃至

微速ニテ哨戒シ敵水上艦艇ヲ警戒ス

二二三〇 卯月ハニ駆逐隊司令ノ命ニ依リ「バロン」

発「オルモック」ニ突入セシモノ、如ク以後消息ナシ

十二日 半晴

一〇〇八 一〇〇度方向ニ敵駆逐艦ヲ発見 戦斗魚雷戦

〇〇一五 桐発射始ム、発射當数ニ本

桐照射主砲機銃射撃開始

〇〇二〇	速力二一節 夕月 敵駆逐艦三隻撃つセントス
〇〇二七	速力十二節 桐打方止 敵煙幕展張 避退 入 駆逐艦一撃破 以後微速ニテ敵言戒入
〇一五五	敵ハ「アルベラ」ヲ巡洋艦一乃至二隻 駆逐 艦四隻以上アル模様ナリ
〇二〇〇	敵重巡我ニ対シ 砲探射撃ヲ開始 至近彈多敵状況不利トナル 一時湾外ニ避退ス
〇二〇〇	桐最大戦速 (三十八節)
〇二〇三	夕月 最大戦速 (三十一節)
〇二一四	夕月 第四戦速 (二十八節)
〇二二〇	桐 第二戦速 (二十四節)
〇二三五	速力十三節トナス
〇三三〇	桐ヲ六〇ノボヒニ入泊セシメ 陸兵軍旗ヲ揚陸 セシム

<p>○四〇〇 夕月一隻ヲ率テ輸送艦收容ヲ為シ 「オルモック」ニ向テ</p>	<p>○五五〇 空知丸揚搭終了ニテ駆逐隊護衛シ 「マニラ」ニ向テ</p>	<p>○六四五 桐 陸兵揚陸ヲ始ム</p>	<p>○七〇三 夕月 魚雷戦用意</p>	<p>○七二二 桐揚搭終了「ロンボ」出港 駆逐隊及 空知丸ヲ追及ス</p>	<p>○八〇〇 桐 駆逐隊ニ合同</p>	<p>○八二〇 夕月 一四〇号輸送艦ヲ收容「オルモック」灣 ヲ脱ス「アルベラ」沖ニ敵巡洋艦 共ニ他數隻 見ユ</p>	<p>○九五三 夕月 一四〇号輸送艦 針路ヲ度「セブ」島 北部ニ向テ速力十三節</p>	<p>上空ニ敵戦機未 ス</p>
--	--	-----------------------	----------------------	---	----------------------	--	---	----------------------

一六四二	一六三七	一六三九	一六三〇	一六二二	一六一〇	一五九三	一五三〇	一四五六	一四四五	一四四〇	一一三〇	一一一四
桐至近彈ニテ重油タンク破孔	發命中 傾斜航行不能 大火災	夕月至近彈數発及才ニ生室ニ直撃彈	対空戦斗 十三機直墜	敵「P四U」「P一三八」四十六機編隊見ユ	針路 三一五度	令右故障復旧 速力十二節トナス	一四〇号輸送艦機械故障	対空戦斗	P一三八十一機発見	輸送艦ト合同	桐ハセブ島北部ニテ 夕月一四〇号	桐ハ夕月ト合同ノ為ニ転ス

一六五〇	散機五ル 後部機械室浸水 後機使用不能
二〇一二	桐一四〇号 輸送船ハ夕月 乘員救助 從事
二〇二七	夕月沈没
二二一〇	針路三〇五度 速力十三節 桐一四〇号 輸送船「マニラ」ニ向ア
十三日	
一四四九	「B」一機 発見
一五〇〇	空地丸二十一 駆潜艇隊「マニラ」ニ着
一六〇八	雷跡ラシキモノ三本 発見
一六一九	桐配置ニ就ク
一六二五	対潜彈用意
一六二七	打方始ム

一六二八

打方止ム

更ニ雷跡ヲシキモノ一本発見

一六三一

打方始ム

一六三二

打方止ム

一七一〇

コレヒドール水道ニ入ル

一九〇〇

桐一四〇号輸送艦「マニラ」着

(合戦図別紙)

<p>GKF 参謀長 十二月九日 〇〇〇一</p>	<p>十二月八日 桐橋長</p>	<p>十二月八日 一三〇五 3KF 参謀長</p>	<p>十二月八日 〇〇〇九 3log</p>
<p>B才九次多号作戦</p>	<p>F GKF 23dg 30dg</p>	<p>九号輸送艦 P 33aBg (下 30dg)</p>	<p>多号作戦 部 GF (大海)</p>
<p>機密才九〇〇一番電 才九次多号作戦輸送隊十二月九日マリア登十日夕刻オモク (止ムヲ得ガレ場合ハバロンボン)入為ノ予定 籍地左ノ通ノ予定</p>	<p>機密才八二〇番電 本艦八日一八〇〇MM入港ノ予定 入港差支ナキヤ</p>	<p>機密才八三〇番電 才九号輸送艦(甲標的ニ同基地物件十三耗機銃十二挺 二十五番爆彈増槽酒保物〇〇三三〇五ノ米) 九日MM登十一日一三〇項MC着急速揚格後MM掃 投ノ予定左記ノ配アリ度 一機橋横井並ニ急速揚格進下 二才三十一魚雷艇乗員全部及二十五十二魚雷艇隊乗員中 マリアセブ間魚雷艇回航指導員前八隻分MM掃投 其他P所定 三陸軍震洋隊基地負約四〇名MM掃投</p>	<p>南西方面部隊電令才八〇五号 才九次輸送部隊MM登十二月九日揚格良ヲ オモクトス但情況ニ揚格良ヲバロンボンニ変更 三桐ハ至急MMニ回航スベシ</p>
	pe	pe	

<p>十二月九日 二二〇五</p> <p>31 9g</p>	<p>十二月九日 二〇五六</p> <p>セ ▽</p>	
<p>輸 九 30dg</p> <p>ト 33abg</p>	<p>ガバオ 第一 多号作戦 部隊</p>	
<p>機密第〇九二二〇五番電</p> <p>機密第〇八三〇五番電ニ記テ追加ス</p> <p>一船同ハロンホン入港コトニ変更セラレタル為九号輸送艦セブ着時刻遅ルテ定日没時以後郷向道才艦ヲ港外迄派遣サレ度</p> <p>ニラニラ飯屋人員ニ昭南及ヨニラ行エ負約一〇〇名</p>	<p>機密第〇九二二〇五番電 H2A B戦機報第9号</p> <p>一零戦ニ機レイテ西岸カモテス海スリガオ海峡方面偵察</p> <p>一七〇〇奔進アルベラ附近海岸ニ敵艦炎上中ヲ認メタル外全ク敵艦船ヲ認メズ一八三〇飯着</p>	<p>「ダクロバン」道ヲ北上我ガ北背後ニ迫ラント企圖シアルモノ、如シ 光井部隊(船舶隊)ハ全カヲ以テオモツク東南方地区ニ於テ 陸戦展開中</p> <p>ニ陸軍ニ個小隊敵魚雷艇基地覆滅、為ニ舟艇機動大発三 小発ニ依リ八日夜「ボンシン」島ヲテオ 発九日「ワタヒラ」 ニ突入、予定</p> <p>別ニ「ラナオ」ニハ一個小隊残留</p>
<p>pel</p>	<p>pel</p>	

<p>十二月十日 0740 多号作戦 隊</p>	<p>十二月十日 0740 多号作戦 隊</p>	<p>十二月十日 0740 多号作戦 隊</p>	
<p>多号作戦 隊</p>	<p>多号作戦 隊</p>	<p>多号作戦 隊</p>	
<p>H2A B 戦車速報 0500-100700 月光二機 カモテス海カニカオ 海峽 宗敵夜襲バババ 沖敵真 城一隻ヲ発見セル外敵 艦艇ヲ 見ズ</p>	<p>一、第九次揚陸部隊ハ更ニ予定ヲ変更萬難ヲ非 ニ、オルモックヲ機橋附近ニ揚陸スベシ 三、護衛艦艇ハ状況許人限リ、イセル附近敵陣地ヲ砲撃 陸上戦車ニ協カスベシ （射撃目標ハ、イセル製糖工場及具、南東海岸） 四、FGBハ今夜夜間以後敵艦艇攻撃手並ニ明十二日黎明 時以後極力上空放音戒ヲ実施スベシ</p>	<p>機密第一。五二番電 NSB電令作第八一三号 第九次輸送部隊ハ今夜オルモック敵前揚陸ヲ敢行 射撃ハ今夜全カヲ擧ゲババババ附近ニ下敵艦艇ヲ 迎撃奇襲スベシ</p>	<p>一、二〇〇一三〇〇 一四〇〇一五〇〇 （三）情況ニテ一六〇〇一八〇〇迄更ニ二機</p>
<p>pel</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>	

	十二月十七日 三〇三 3log	十二月十八日 〇九〇〇 30dg
	才九次輸送部隊	GKF GFR GB PP セブ 遠通部隊
機密才二二一〇三番電 南西方面艦隊參謀長 オルモック方面陸戦状況 一ノ味方才一線部隊(今堀部隊基幹約二〇〇名)ノ散開 友軍飛行機ノ果敢ナル攻撃ヨリ敵ノ地上及海上部隊 ノ活動ニ動揺下セルハモ、如シ今堀部隊ハ九日夜更ニ 増援セラレ、オルモック附近確保ノ算増大セリ 才九次輸送部隊ノ増援ヨリ、アルベラ方面ノ敵意減ヲ 期シ得ベキ状況ニアリ、 二九日夜才一線ハオルモック南東約ニ行ニアリタルモ爾後 ノ情況未詳 三〇日〇九〇〇使用可能入登十二隻	機密第一〇九〇番電 才九次輸送部隊指揮官 本十日二〇三〇オルモック突入ノ予定正午位置北緯十五度 三分東経二四度。今更速ハ五節 視界良好	視界良好
see	see	see

<p>十一月十日 一五〇〇 30dg</p>	<p>十一月十日 一四〇五 30dg</p>	<p>十一月十日 一三〇〇 30dg</p>	<p>十一月十日 一二〇〇 30dg</p>
<p>第九次輸送部隊</p>	<p>GKF 1 GFGB セブ 西</p>	<p>GKF 1 GFGB セブ 西 通信隊</p>	<p>GKF 1 GFGB セブ 西 通信隊</p>
<p>今夜、船団の目的地が次々通じ、トス ホルモック、残橋、西ノ橋、不三行、西ノ橋、三ノ橋、四ノ橋、五ノ橋 形、順序、各船、巨艦、不三、の米、ニテ、投、鍋、又、海岸 ニ、桐、座、ス、ル、モ、ト、ス</p>	<p>機密ヲ二一四〇五番電 第九次輸送部隊指揮官 一タスマニヤ九至近岸、為、浪、水、甚、ダ、シ、ク、ト、イ、テ、西、岸、ニ、桐、座 セシムルニ定</p>	<p>機密ヲ二一三〇番電 第九次輸送部隊指揮官 敵艦上爆撃機ニ、機ト交戦被害ナシ</p>	<p>機密ヲ二二〇番電 第九次輸送部隊指揮官 我敵飛行機ニ、機ト交戦中</p>
<p>テ</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>

<p>十二月十一日 30dg</p>	<p>十二月十一日 30dg</p>	<p>十二月十一日 30dg</p>	<p>十二月十一日 30dg</p>	<p>十二月十一日 1GFGB</p>
<p>第九次輸送部隊</p>	<p>第九次輸送部隊</p>	<p>第九次輸送部隊</p>	<p>GKFGFGB P</p>	<p>伊基地 多号作戦部隊</p>
<p>一、三番船、揚塔地ウバロンポンニ変更ス 二、本職合ヲ夕月相輸送艦ヲ率ヒオルモクニ向フ 三、卯月ハ潮香救助夜進來セヨ</p>	<p>二番船ハバロンポンニ入港揚塔セヨ</p>	<p>驅逐隊司令ハ駆逐艇及バロンポンニ大発ヲ使用シ一三番船ノ救助ニ当レ、本職合ヨリ爾余ノ船ヲ率ヒオルモクニ向フ</p>	<p>九次輸送部隊ヲ彈止セバ敵戸四ハ三七機トニ交戦中船固全部航行不能 カスマニヤ丸車轉沈ス</p>	<p>機密才二一五二番電 一、FGB停電令才五号 明日才九次輸送部隊ノ上空警戒ハ在ニヨリ実施スベシ 一日七時乃至一一〇〇。セブ所駐制空隊 二、一〇。一八〇。才ニ制空隊</p>
<p>テ</p>	<p>フ</p>	<p>テ</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>

<p>十一月十日 21chg</p>	<p>十一月十日 30kg</p>	<p>十一月十日 30kg</p>	<p>十一月十日 30kg</p>
<p>九次輸送部 セブ GKF IGFGB P</p>	<p>九次輸送部 セブ GKF IGFGB P</p>	<p>四 月</p>	<p>四 月</p>
<p>機密ヲ一〇二〇番電 一、空知丸揚務續行中 二、美濃丸タスマニヤ丸沈没 三、駆逐一七三七ヲ以テ難着ヲハロ、ホンニ揚陸中 四、五五〇駆逐一七、駆逐三三七ヲ率ヒ空知丸ヲ護衛シ ハロン、ホンニ出雲、予定 航路概テ往路ノ反対、速カ九、五ノ節</p>	<p>機密第一二二〇番電 九次輸送部隊指揮官 二二〇〇、オルモックニ突入揚陸開始</p>	<p>返答スルニ及バズ駆逐隊司令ノ指揮ヲ受テ</p>	<p>成ニ得ルニ美濃丸ヲハロン、ホンニ返航セヨ</p>
<p>lll</p>	<p>lll</p>	<p>一</p>	<p>一</p>

0920 230

<p>十二月十一日 30dg GKF IGFGB PP セブ 西</p>	<p>十二月十一日 30dg GKF IGFGB PP セブ 西</p>	<p>十二月十一日 30dg GKF IGFGB PP セブ 西</p>	<p>十二月十一日 30dg GKF IGFGB PP セブ 西</p>	<p>十二月十一日 30dg GKF IGFGB PP セブ 西</p>
<p>機密才二〇。八二。番電 九次輸送部隊指揮官 夕月一四。号輸送被ヲ率ヒ、ハロンポンニ向、オルモック ニモ。度ハ理。ハニ。</p>	<p>機密才二〇。七二。番電 九次輸送部隊指揮官 我輸送艦、状況確認、為再ビ、オルモックニ向、桐八現作業 完了、只速ニ合同セヨ。</p>	<p>機密才二〇。二五。番電 九次輸送部隊指揮官 情况知ニモ、接岸航行ニ遅延セヨ。</p>	<p>機密才二〇。二五。番電 九次輸送部隊指揮官 我敵巡洋艦数隻、三圍攻撃ヲ受リ、状況不利、湾外避難</p>	<p>機密才二〇。一〇。番電 九次輸送部隊指揮官 オルモック湾内ニ敵入艇、艇逐艦四隻以上見エ、我交戦中</p>
<p>pel</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>

<p>十二月十二日 一三二四 41ABP</p>	<p>十二月十一日 一三〇〇 M 30kg</p>	<p>十二月十日 一〇四三 セ 西</p>	<p>十二月十二日 八四五 M 30kg</p>
<p>多号作戦部 艦隊 艦隊 艦隊</p>	<p>多号作戦部 艦隊 艦隊</p>	<p>多号作戦部 艦隊 艦隊</p>	<p>多号作戦部 艦隊 艦隊</p>
<p>偵察 一九三九「ビーボラン」岬、南方に駆逐艦四隻上陸用母艦 四隻南下爆雷攻撃中「ババ」四隻駆逐艦一旋回中 「オーム」号輸送艦一隻炎上其他兩隻為不詳</p>	<p>偵察速報 艦上偵察機一機。セ、五のクリック発進、レーン島西力</p>	<p>輸送艦一駆逐艦一駆逐艦二。九三〇、位置、セ、北端 速力七ノ敵機ヲ認メズ</p>	<p>機密才三。八四五番電 九次輸送部隊指揮官 一四。号輸送艦「オーム」クニ於テ人員戦車全部機材 初六割揚陸セテ被擲、タノ偵場「ルモ」戦車航海、差支</p>
<p>nee</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>

2520

<p>11月11日 21chg</p>	<p>11月11日 桐 21chg</p>	<p>11月12日 21chg</p>	<p>11月12日 30dg</p>
<p>P 3Kf 30dg</p>	<p>GKf 30dg</p>	<p>P 30dg</p>	<p>GKf 30dg</p>
<p>機密才一三〇。八〇。番電 一二一駆清隊(駆清三七二七)空知九一九。マニラ着 予定</p>	<p>機密才一三二〇。五九番電 二〇二七夕月沈没司令及艦長桐三移乘桐及一四。号 輸送艦ヲ率ヒマニラニ回航一三日ニ。入港ヲ予定 航路往航路ヲ逆航速力十三節桐片舷航行対清 機密才一三二〇。五九番電</p>	<p>機密才一三二六。一五番電 宛九次輸送部隊指揮官 駆清三七 駆清一七 空知九一六〇。位置ジントロ 灯台、二九。度一。理針路ニ九八度速力九。五節</p>	<p>機密才一三二五。一〇番電 宛九次輸送部隊指揮官 P一三八八機ト交戦中マニラ南我針路三一五度</p>
<p>nee</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>	<p>nee</p>

<p>十二月十四日 0025 M 30dg</p>	<p>十二月十三日 1748 P GF</p>	<p>十二月十三日 1723 31dg</p>
<p>WSB 戦半概 報告信紙 所 GK 空口派 遺通信隊</p>	<p>P 1GFGB P 30dg P GK (大海参二部)</p>	<p>P 1GF 大海参二部 長</p>
<p>機密第一四〇〇二五番電 発多号作戦第九次輸送部隊指揮官 通報兵鎮長官佐領長官 多号作戦第九次輸送部隊戦半概報 第九次輸送部隊九日二五三〇。ロンボレニ向ケマシテ 出雲十日朝場格点ヲ変更「オルモツ」ニ敵前揚陸 命ラ度ケ航洋中十一日一一〇〇敵下四日約四機ト交戦 被害軽微約。機密第一一三三〇九号輸送艦ヲ命離</p>	<p>機密第一三一〇四八番電 発聯合艦隊司令長官 才九次多号輸送作戦部隊が極ノテ困難ナル状況 下ニ輸送任務ヲ完遂ニ邁進スルト共ニ戦況ニ慮ガル 独断専行亦機ニ叶ヒ作戦目的ノ大部ヲ達成シタルハ大 ニ可ナリ。</p>	<p>機密第一三一七三番電 発 NSB 指揮官 才九次多号作戦輸送部隊が極ノテ困難ナル状況ノ下 行動機宜ニ適ヒ勇戦最斗克ク任務ノ大部ヲ達成シ ニナルコト欣快ニ堪エズ深イ其ノ勞ヲ多クス</p>
<p>pel</p>	<p>pel</p>	<p>pel</p>

一六〇〇。パロソホン。沖ニテ敵ノ四ノ約回。機ト交戦後、澤凡
 タスマニヤ丸炎上沈没其地各艦船兵相当ノ損害アリ、
 意隊二十枚大発射管無トナリタルヲ以テ空知丸ヲパロソホンニ入泊
 証清隊及卯月ヲ残シ夕月桐一四。P及一五九〇ヲ輸送艦
 ヲ率ヒ二二三。オルモックノ突入。輸送艦ハ被武混戦ノ中ニ
 敵ノ射撃ヲ受ケテ、揚子川ノ如ク十二日〇一二。湾内ニ於テ桐
 敵駆逐艦ト交戦命申澤ヲ與ヘタルモ壘沈スルニ至ラズ。煙幕裡
 ラ南方ニ遁走ス。二三。夕月及桐ハ敵巡洋艦及駆逐艦四隻
 以上ノ電探射撃ヲ受ケ一旦湾外ニ避退桐ハパロソホンニテ
 陸兵遭難者約六〇。多クヲ揚陸後合同ヲ命ジ夕月一復テ
 率ヒ再ビオルモックノ湾ニ突入敵駆逐艦ヲ砲撃ヲ受ケテ、
 脱走中一四。号輸送艦ヲ收容シマニリニ向テ。途中桐
 合同ノ航行中一六三。敵下四ノ四枚ヲ交戦夕月中部ニ
 爆撃下二個ヲ受ケ二。二七地兵北緯十二度三八分東経
 一二三度二九分ニ於テ沈没。桐ハ至近彈ニ依リ石炭枝
 使用不能夕月、乗員ヲ收容輸送艦ヲ護衛十三日
 一几〇〇MM省。空知丸ハパロソホンニ於テ揚陸十二日
 〇五三〇。二一証清隊ヲ護衛シMMニ向ヒ十三日
 一五〇。省卯月八十一日二二〇。省オルモックニ向ヒタル

マ、消息、ア、敵艦隊ト交戦、沈没セルモリト認め
 一五九号輸送艦ハ揚塔中沈没ヲ受テ大破ナリ
 揚塔人員物件
 一四〇号輸送艦人員八名、戦車全部、機材六割、一五九号輸送
 艦大破、之ニ人員全部、戦車三〇以上、彈薬示上ニ以上
 其ノ後不明
 空知丸人員物件全部
 美濃丸、タスマニア丸人員全部（伯人武装船上ノ持参）
 戦死
 夕月二十名、桐丸名、配、清三七、一〇、ノ、一四〇号輸送艦六名
 尚九号輸送艦（セブ行）ハ完全ニ任務ヲ達成シ十三日
 〇九四五MM全日

五. 戦果及被害

(1) 戦果

対空戦

(10) 水上戦

(11) 揚子塔

(2) 被害

撃墜 五〇機

撃破 二〇機

撃破 駆逐艦 一

人員陸海軍全部

器材陸軍 1/3 海軍 1/2

沈没 駆逐艦 二

商船 二

大破 小型輸送艦 一

六 戰訓所見其他

一 敵制空圈内ノ船団ノ敵警戒航行隊形ハ最緊縮隊形ヲ可トス

空襲ニ際シ從未採用セラレシ如キ展開ヲ行ハ回避運動ノ自由得ラルモ各艦(船)ノ巨離大トナリ對空砲火ヲ集中スル能ハズ各個ニ爆撃手(銃撃手)サルル機會極メテ多シ從テ保安上許ス限リ現敵警戒航行隊形ヲ極力短縮シ船団ノ對空砲火ヲ一境トナシ敵機ニ集中スルヲ可ト認ム

右ノ如キ隊形ヲリテ回避運動ハ寧ろ必要最小限度ニ止メ又高速力發揮ノ必要モナシ今次行動中終始右隊形ニテ敵機ニ當リ從未ナキ良キ戰果ヲ收メ得タリ

二 船団(陸軍)護衛中船舶ニ被害アリタル際過早ニ救難ニ當ルハ一考ヲ要ス 輸送船美洲丸爆撃手ノ至近彈ニ依リ航行不能トナリ左舷ニ約三〇度傾斜セシ際護衛艦狀況確認ノ為メ近接スルヤ

乗船中ノ陸兵續々海中ニ飛込ミ之ガ救助ニ多ク大時間ヲ要セリ輸送指揮官ニ於テ陸兵ノ指揮掌握ヲ適切ニシ護衛艦指揮官トノ連絡ヲ更ニ密ナラシメ善處スベキナリ 斯ル場合護衛艦ノ過早ニ被害船ニ近接スルハ陸兵ノ海中飛込ミヲ助長ソスレ却テ不利ナリ 三 局地戰ニ於ケル丁型驅逐艦ノ價值ニ就テ

- (一) 機械室を室ノ配列ニ適當ナリ 機械室並に交互ニ配列シアリテ
 何レノ損傷ニ際シテモ片舷使用可能ナル為地戰ニ於テ極メテ重宝
 ナリ 今次作戰ニ於テ相ハ至近彈ト多数ノ機銃彈ヲヨリ相當ノ
 損傷ヲ蒙リ片舷使用不能ニ陥リタリ從來ノ駆逐艦ニテ全艦
 然航行不能トナル處機械室を室ノ配列宜シカリシ為メ尙且
 相當ノ戰鬥ニ堪ヘ無事基地ニ飯投シ得タリ
- (二) 兵裝十分備ハレリ 現裝備ノ主砲ハ對空對水上戰鬥共射
 程並ニ威力ニ於テ十分モト認ム今次作戰行動中三回ニ互ニ對空
 戰鬥並ニ打モツク灣内ニ於ケル對駆逐艦夜間戰鬥ニ於テ實証シ
 得タリ又発射管ハ四聯裝一基ニテ十分目的ヲ達シ得ルモト認ム
- (三) 操縱性ニ富ム 高速中ノ旋回圓比較的小ク狹隘ナル海面ニ
 於ケル運動極メテ容易ナリ
- (四) 最大速力二十八節ハ不足ナリ三走トナヌヲ要ス

第九次輸送部隊命令第一號

昭和十九年十二月六日

多號作戰第九次輸送部隊指揮官

澤村成二

第九次輸送部隊命令

一 敵情及友軍ノ情况

口述

二 第九次輸送部隊ハ七日(四)ヨリ出撃及隊上緊密ナル協同ノ下ニ

廿日一七三〇ノアルモックニ突入ノ予定ヲ以テ強行輸送ヲ實施セントス

特令ナケバ七日ヲ 日トス

アルモック出撃時刻ヲ廿〇六〇ト予定ス

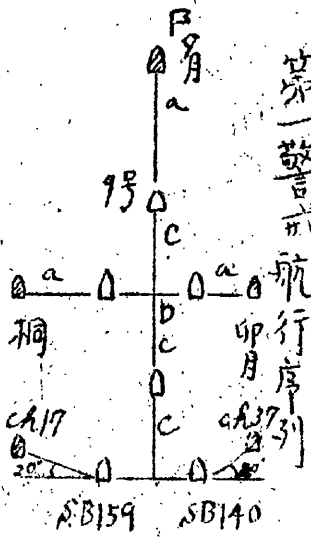
B艇アルモック出撃ニ際シ卯月ハ適宜之ガ護衛ニ任ジタル後警戒

配備ニ復歸スベシ

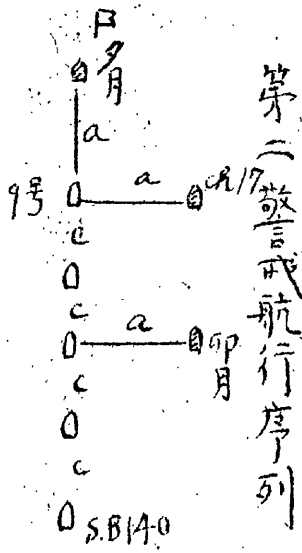
兵力部署

護衛部隊	指揮官	兵力	任務	記事
本		約7月卯月	警備、誘導	括弧内數字ハ

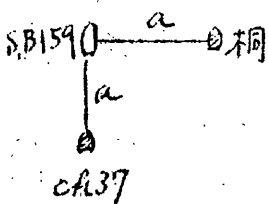
0940



四 豫定航路
別紙第一通
五 警戒航行序列
第一警戒航行序列



第二警戒航行序列



船		職	
長(船)艦任先		21chg 司令	
輸(船)輸(美)空 九(五)九(四)九(三)九(二)		21chg (ch177) (ch370)	
輸送 陸海軍部隊		護衛及敵艦艇 撃滅	
ヲ示ス 指揮下ニ入ラシメラル 輸送艦八回航中本職 括弧内數字ハ船番号		艦船番号ヲ示ス	

第三警戒航行序列

第二警戒航行序列ニ於ケルニ各艦以下ノ護衛艦ヲ船團ノ左側ニ附ケタルモノヲ言フ
特令ナケバαヲ一五〇。米。βヲ八〇。米。γヲ六〇。米トス

六、速力區分

原速 九節 半速 七・五節 微速 六節

強速 (各艦(船)出シ得ル最大速力)

七、船團錨地

別圖第二ノ通

八、泊地突入要領

不入泊隊形ハ特ニ制形セズ、解列入泊セヨ、令アラバ各船毎自己錨地ニ直航錨泊スルモノトス

(四) 各船ハ可能ナル限リ接岸錨泊スルモノトシ、兩船ノ距離ヲ八〇。米トス
距離ハ對敵顧慮上嚴守スルヲ要ス

九、入泊前及揚塔中ノ警戒

(四) 第一警戒航行序列ニテ敵飛行機、魚雷艇及潜水艦ヲ掃蕩排除シツツ入泊ス

(四) 船團入泊又は各護衛艦ハ別に第一、警戒配備ニアリテ電探水中聴音機ヲ大ニ活用シ見張力ノ全能發揮ト相俟テ早期敵発見ニ努メ之ヲ

撃手減ス

一、會敵時ノ處置

(一) 警戒航行中

(一) 敵潛ヲ發見セル場合 最寄、護衛艦一隻ハ發見艦(發見艦船團ナル場合ハ發見艦ニ近キ艦ニ協力ニシテ攻撃手スルヲ立前トス

特令ナドハ判圧時間ヲ二時間以内トス

(二) 敵機ニ對シテハ終始警戒ヲ嚴シシ早期發見ニ努メ敵機來襲ニ際シテハ散開又ハ回避ヲ行ハス全軍、砲火ヲ集中シ來襲機必墜ヲ期ス

(三) 敵魚雷艇ヲ發見セル場合 一隻ニ狀況ヨリ三隻(協同之ガ撃手減ニ任ズ狀況ヨリ前方ニ占位スル各艦ハ煙幕ヲ展張シ極力船團ヲ遮ル敵ス

(四) 揚格中

(一) 晝間敵機來襲ヲ予察シタル場合 艦艇船舶ハ藥煙幕(薄煙幕)ヲ展張船團ヲ遮蔽スルヲ例トス

(二) 敵水上艦艇來襲ニ際シテハ夕月ハ濃煙幕ヲ以テ船團ヲ遮蔽シ護衛隊ハ連繫ヲ密ニシ地形ヲ利用シ敵ノ進退ヲ待ツテ三方ヨリ急襲敵ヲ猛撃手々減ス

237
三

三 潜水艦魚雷艇ノ未襲ニ際シテハ夕月ハ濃煙幕ヲ以テ船團ヲ遮蔽護衛
隊ハ之ヲ攻撃撃滅ス

二 被害時ノ處置

被害ヲ受テ爾後ノ行動不可能ト認メタル場合ハ最寄海岸ニ擱岸
坐礁シ同所ニ於テ急速揚塔ヲ實施ス
被害船ニ對シテハ艦艇一隻ヲ殘シ之ガ護衛ニ充當スルヲ例トス

三 揚塔出撃時ノ行動

揚塔終了セバ船團ハ令ニ依リ順番號揚塔第一警戒航行序列ニ占位概テ突
入時ノ逆航路ヲ執リテ出撃ス護衛艦ハ機宜外方ノ警戒ヲナシツシ船團ニ合ス
〇六〇ニ至ルモ揚塔未済ノ場合ハ揚塔ヲ中止シ全時刻令ヲシテ出港スルモトス

通信

船團運動並ニ通信規程ニ依ルノ外別紙第一ノ通り

四 哨戒

(1) 水測哨戒
(2) 聽音哨戒
各艦哨戒時聽音哨戒ヲナス

二十二號 電探	全周 (接岸中ハ 適宜海上)	桐 十七駆潜 三駆潜 九號輸	正子 日没時 正子 日没時	日 正子 正子 日	出 子 子 出	敵水上艦艇輕快 艦艇探知
------------	----------------------	-------------------------	------------------------	--------------------	------------------	-----------------

(記事)

一 配員時間中於テ此電波輪射探信法等ハ各艦艇長ノ所信ニ任ス
 二 會敵時ハ令テラシテ探信哨戒ヲ行フモノトス

(三) 電波探知機

七五二六(北)	搜索區分	搜索範圍	搜索艦	配員時間
二〇一四三(北)	全周	夕月卯月間 十七駆潜三 駆潜及輸送艦	半時	

1940

三 使用暗號書

智ニ於一。リサ甲

九號輸	三七驅潛	十七驅潛	桐	卯月
光	光	光	光	光
六	五	四	三	二
雲	空	島	陸	水

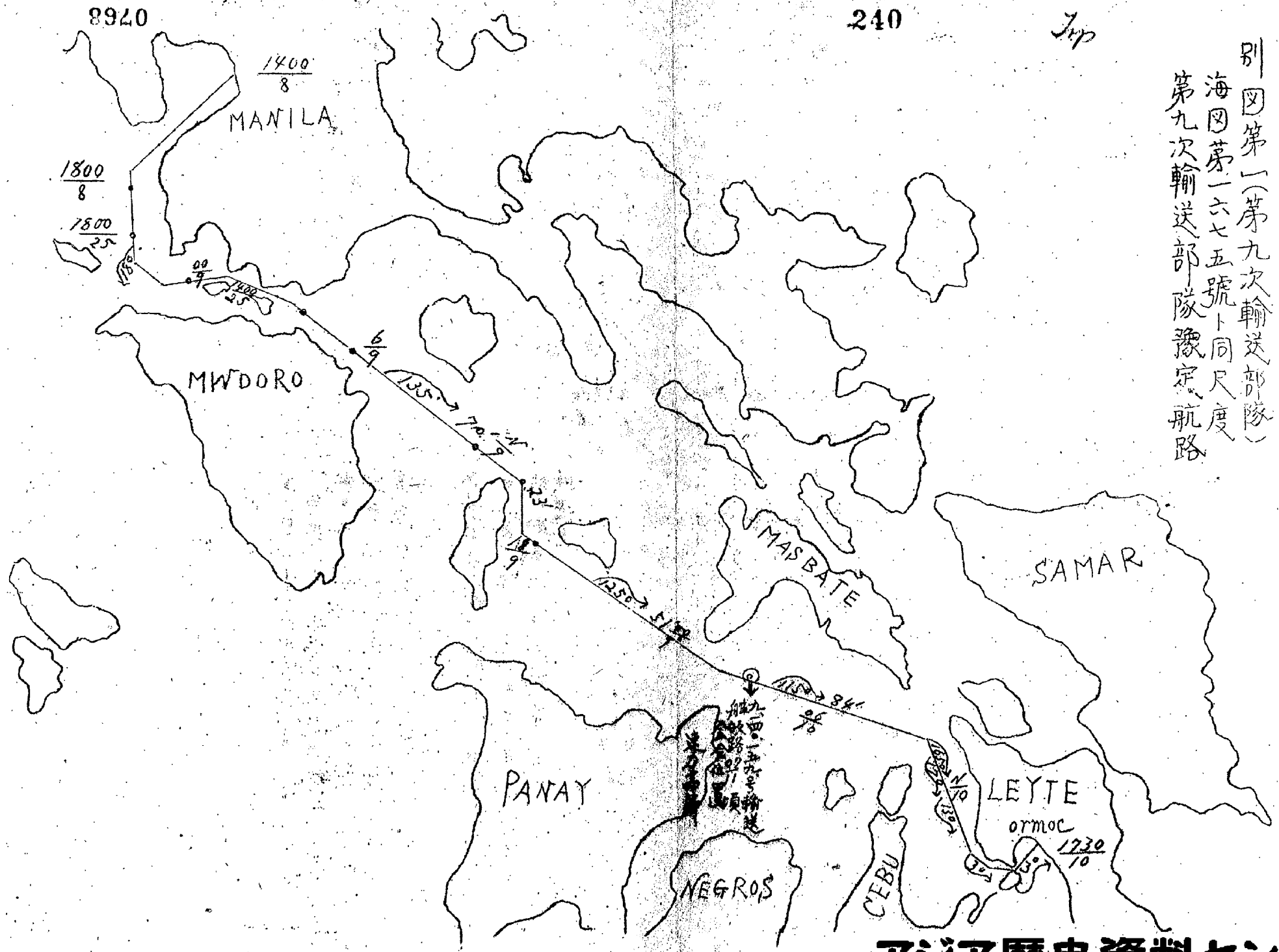
四 通信防衛

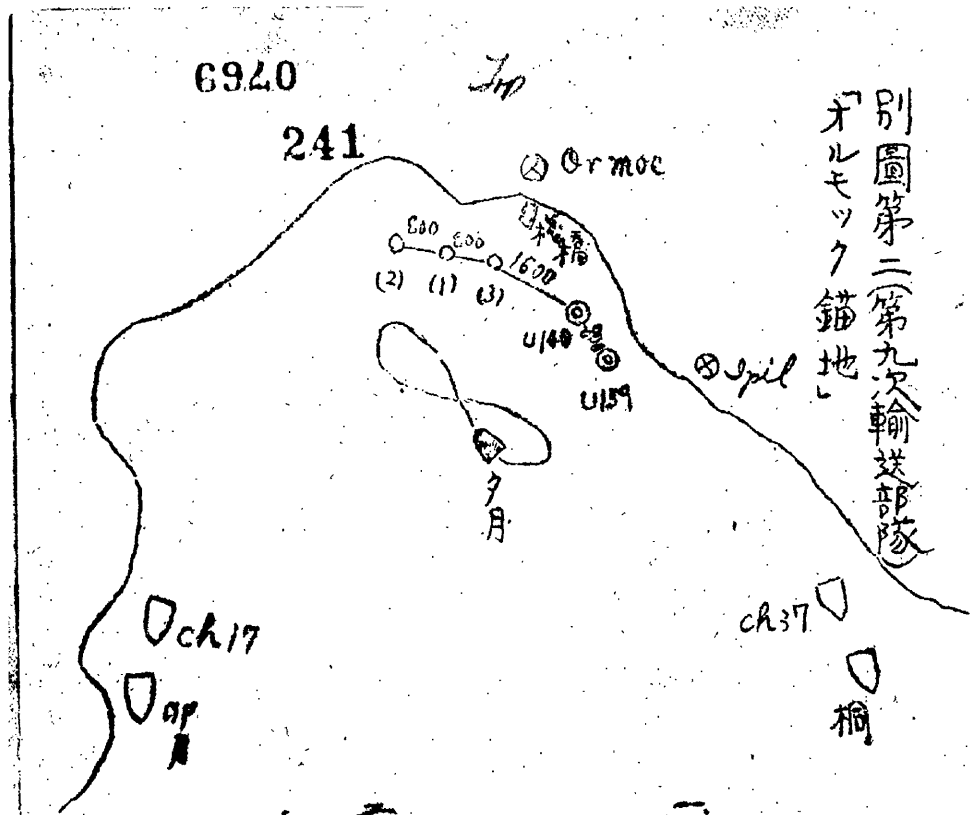
マニラ出撃以後

短、中、長波
 超短波
 戦闘管制
 警戒管制

(終)

別図第一(第九次輸送部隊)
 海図第一六七五號卜同尺度
 第九次輸送部隊豫定航路





別圖第二(第九次輸送部隊)
オルモック錨地

註

第一四〇一五九輸送艦ハ揚塔終了(十日ニ三〇〇頃
ノ予定)次第ヲ出港概テ往航路ノ逆航路ヲ
執リマニラニ取投ス此ノ場合「オルモック」ヨリ
約二十哩附近迄即月ハ之ガ護衛ニ任ジタル
後原警戒配備ニ復取ス

ニ泊前第九輸送艦ハ分離別動シハ。頃
セブ島ニ回。頃ハセブ島ノ島客ヨリニ
北上概テ往航路ノ逆航路ヲトリ「マニラ」ニ
取投ス

別紙(第九次輸送部隊)
一 規約信號

信號セントスル事項	規約信號	記事
敵機ヲ發見シ味方直衝戰 斗機ニ通報セントスル場合	煙幕百又黒ヲ一時展張シ飛行機 ニ向首ス	
夜間敵潜水艦又魚雷艇 ヲ發見セル場合	青色信號拳銃一發	飛行機ヨリ艦船 宛信號スル場合モ 同様トス
夜間駆逐艦以上艦艇 ヲ發見セル場合	敵駆逐艦三隻以下發見セル場合 赤一發 敵駆逐艦四隻以上發見セル場合 赤ニ發	

備考

サニバルデノ海峡、レイテ島北部及南部、魚雷艇攻撃哨戒偵察ニ任スル
飛行機ハ護衛艦ノ通信能力小ナルニ鑑ミ敵ヲ發見セル場合ハ極力味方
船團上空ニ至リ本規約ニ基キ船團ニ通報スルモノトス

二 飛行機艦艇間味方識別(夜間)

(一) 艦艇ヲ認メハ航空燈ヲ以テ左ノ符號識別ヲ行フ

奇數日 ———— 偶數日 ————
(日、轉換ハ○○○トス)

(二) 艦艇ハ右ヲ認メバ赤色
ス 對上空識別燈ヲ點ジ同
一符號ヲ以テ應答

(終)

尚武参内第二六號

感謝ノ意傳達件

昭和十九年十二月十七日

第十四方面軍司令官 山下奉文

南西方面艦隊司令長官殿

首題ノ件貴麾下第三十駆逐隊司令ノ指揮又廿九次多
號輸送作戰護衛部隊ニ對 左記感謝ノ意ヲ傳達方
願度

記

第三十駆逐隊司令ノ指揮セシ護衛部隊ハ廿九次輸送作戰
ノ護衛ニ任ズルヤ敵ノ執拗熾烈ナル攻撃ヲ月シ敵機ニ機
ヲ撃隊シ此ノ間護送輸送船ノ主カヲシテ機宜ノ處置ヲ
執ラシメ一部ヲ率テ断乎ホモツク灣ニ突入シ有カナル敵
艦艇ト交戦シテ之ヲ撃退遁走セシメ且倥忽ノ間遭難セシ
陸兵ヲ收容スル等全艦艇奮斗克ク其ノ輸送將兵及作戰

2440243

資料ノ大部ヲ揚陸セシムルヲ得タリ
 右ノ要員ニ護衛指揮官ノ指揮適切ナリシ護衛部隊ノ旺盛
 ナル敬斗精神ニ依ルモノシテ衷心ヨリ謝意ヲ表ス

(終)